PHRサービス事業協会

PSBA万博イベント アンケート結果

未来のわたしと出会う場所
ー 笑って学べる！みんなのヘルスケア × PHR ー

PHRサービス事業協会　広報委員会　産業界啓発WG　加藤英一郎
（所属　株式会社インテージヘルスケア）

© 2023 PHR Service Business Association All Rights Reserved

サマリー

PHRサービス事業協会

【調査目的】 PHR万博イベントに参加者のPHRに対する理解度、活用意向、将来への期待等を知る

【調査対象】 PHR万博イベント参加者 46名

【主な結果】

- 最も印象に残ったコンテンツは、「高尾美穂先生の講演」でした。
- イベント終了後のPHR理解度については、「よく理解できた」または「理解できた」と回答した方が全体の63%となり、理解度は概ね高い結果となりました。
- PHRの活用については、「積極的に活用したい」または「活用したい」と回答した方が全体の78%となり、活用の意向は高い傾向がみられました。

【考察】

- イベント後のPHRに対する理解度と活用の意向はともに高く、一般生活者を対象としたイベントの実施には一定の効果が期待できることが推察されました。
- 具体的なサービス内容に関する要望については、男女別・年齢層別で違いがみられました。そのため、対象に応じたサービスの開発を検討することが望ましいと考えられました。

調査実施会社 (株)インテージヘルスケア

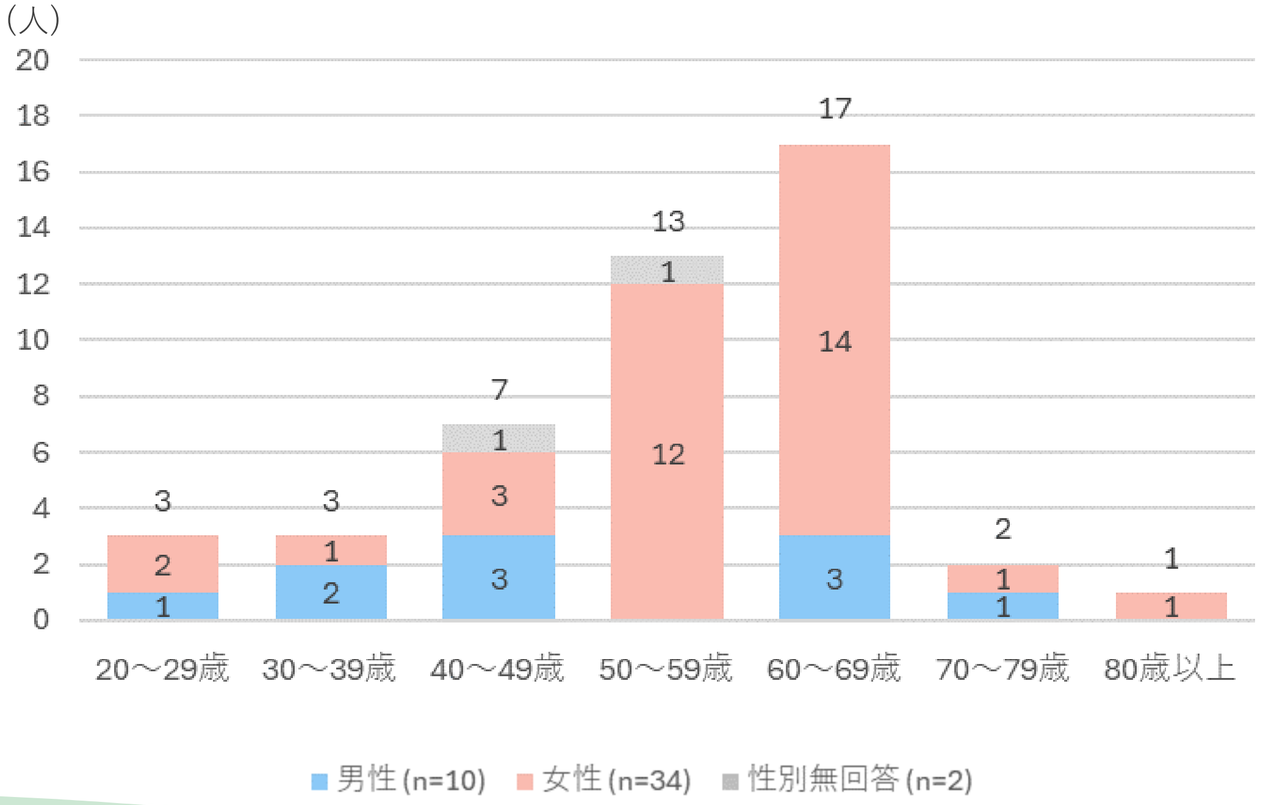
© 2023 PHR Service Business Association All Rights Reserved

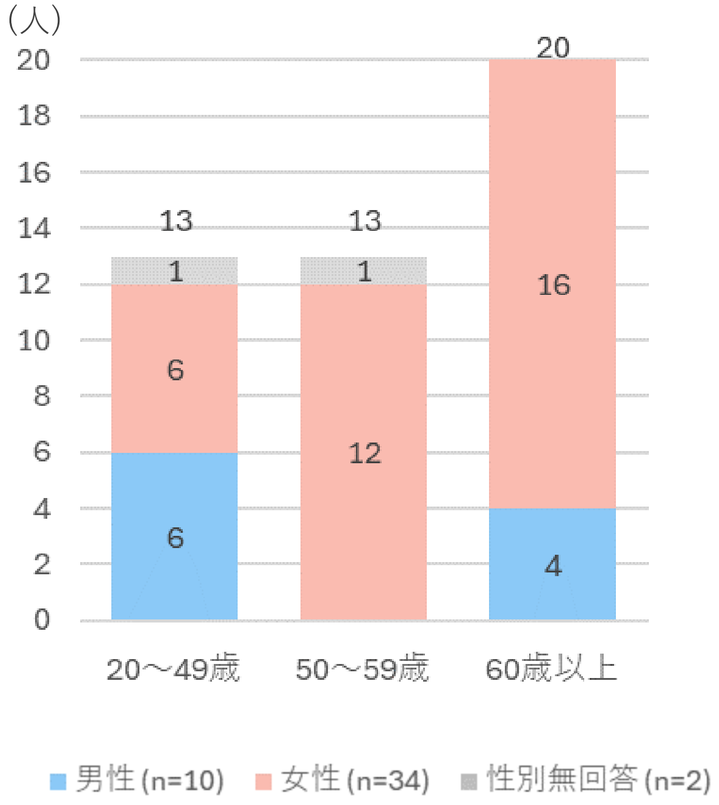
回答者の性別・年齢層分布

PHRサービス事業協会

Q1, Q2

- 回答者の性別・年齢層の分布は以下のとおりです。女性が全体の約4分の3を占めており、特に50代と60代の女性が多くなっています。
- 年齢層ごとの人数の違いを考慮し、集計は「20～49歳」「50～59歳」「60歳以上」の3つの年齢グループに分けて行いました。





調査実施会社　(株)インテージヘルスケア

© 2023 PHR Service Business Association All Rights Reserved

印象に残ったコンテンツ（人数）

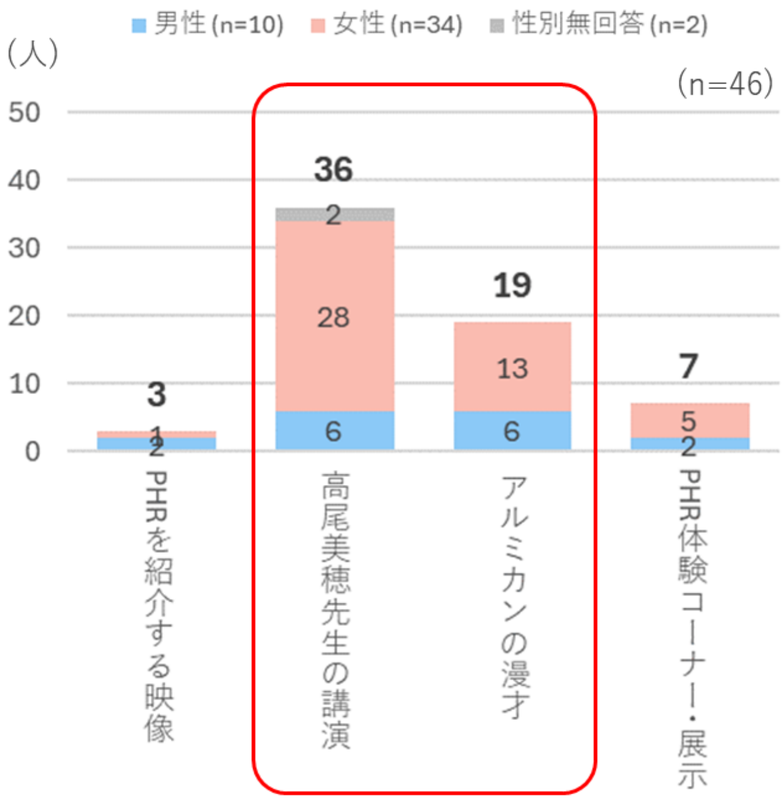
PHRサービス事業協会

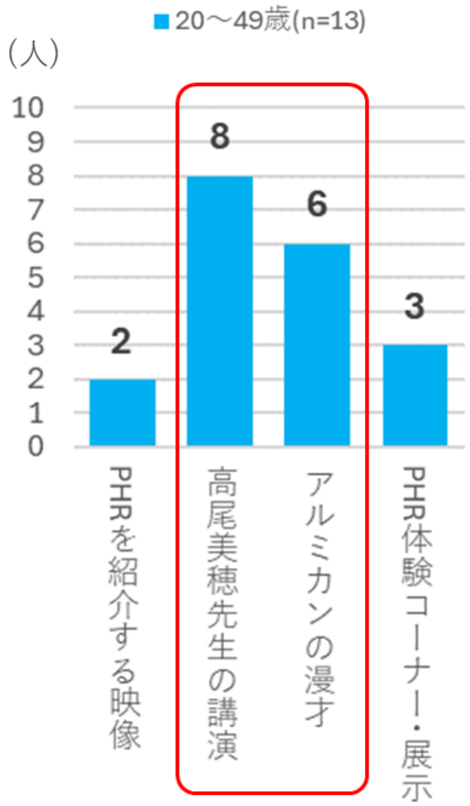
Q3

➢最も印象に残ったコンテンツは「高尾美穂先生の講演」で、次に多かったのは「アルミカンの漫才」でした。

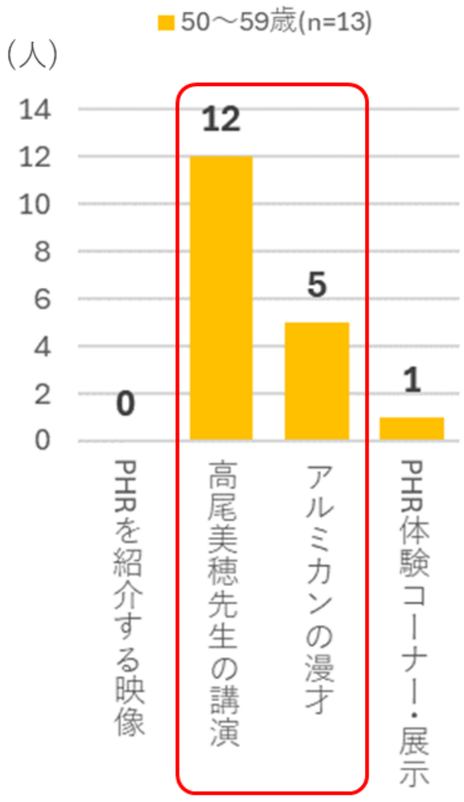
➢この傾向は、すべての年齢層で共通していました。

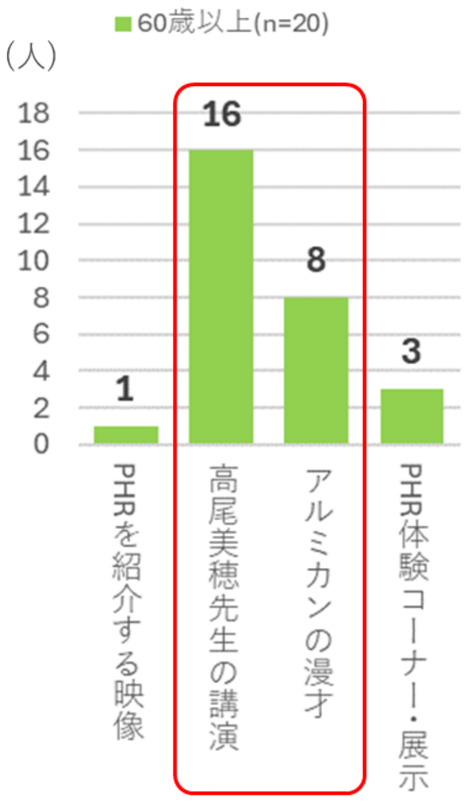
【男女別】





【年齢層別】





調査実施会社　(株)インテージヘルスケア

© 2023 PHR Service Business Association All Rights Reserved

印象に残ったコンテンツ（%）

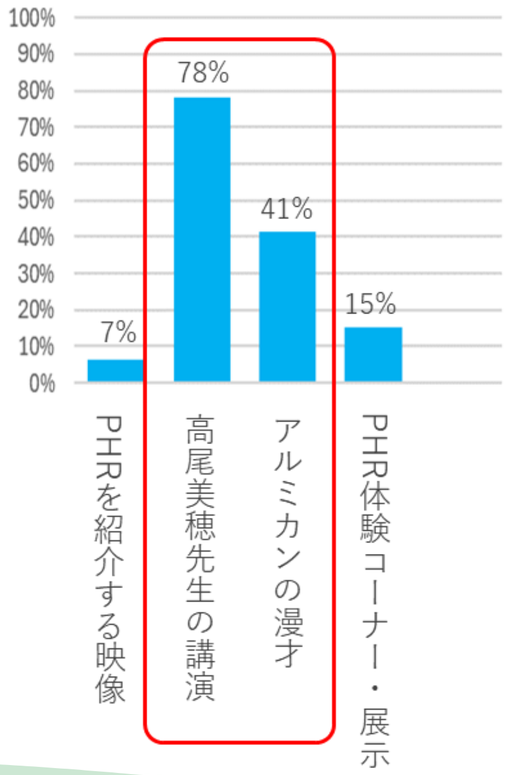
PHRサービス事業協会

Q3

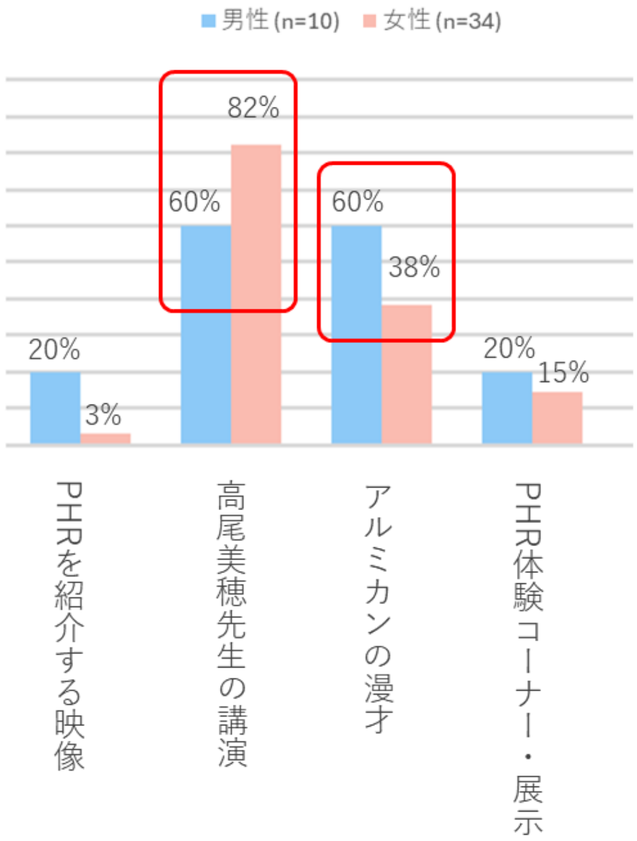
➢最も印象に残ったコンテンツは「高尾美穂先生の講演」で、次に多かったのは「アルミカンの漫才」でした。
➢男女別にみると、「高尾美穂先生の講演」は女性に、「アルミカンの漫才」は男性に印象を与えやすい傾向がありました。

【全体】

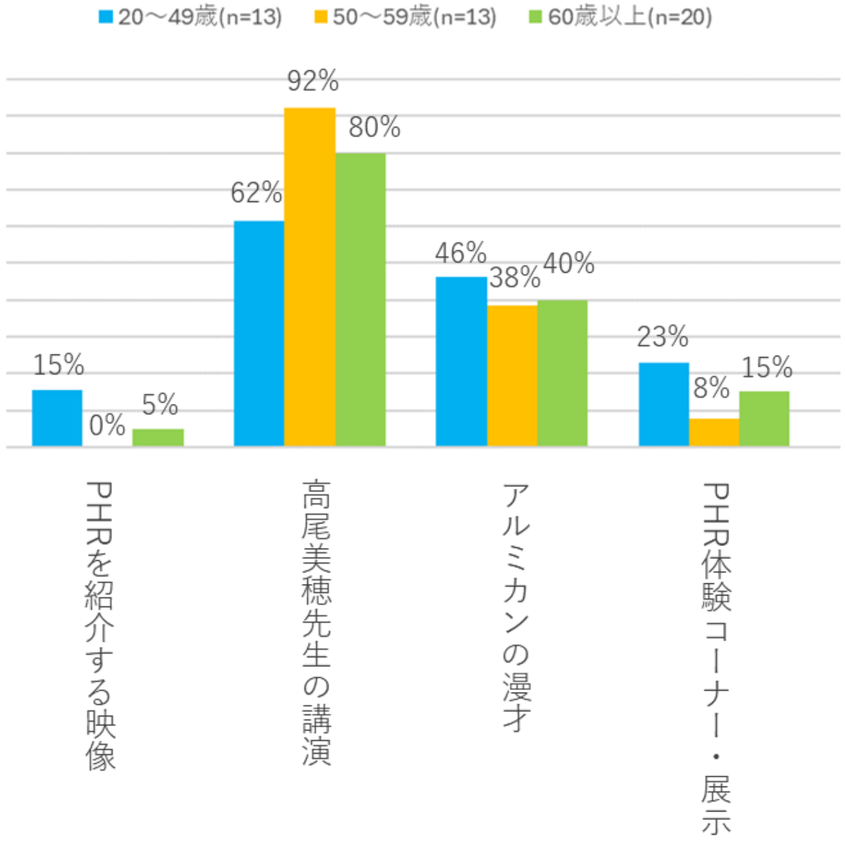
(n=46)



【男女別】



【年齢層別】



※2名は性別無回答

調査実施会社　(株)インテージヘルスケア

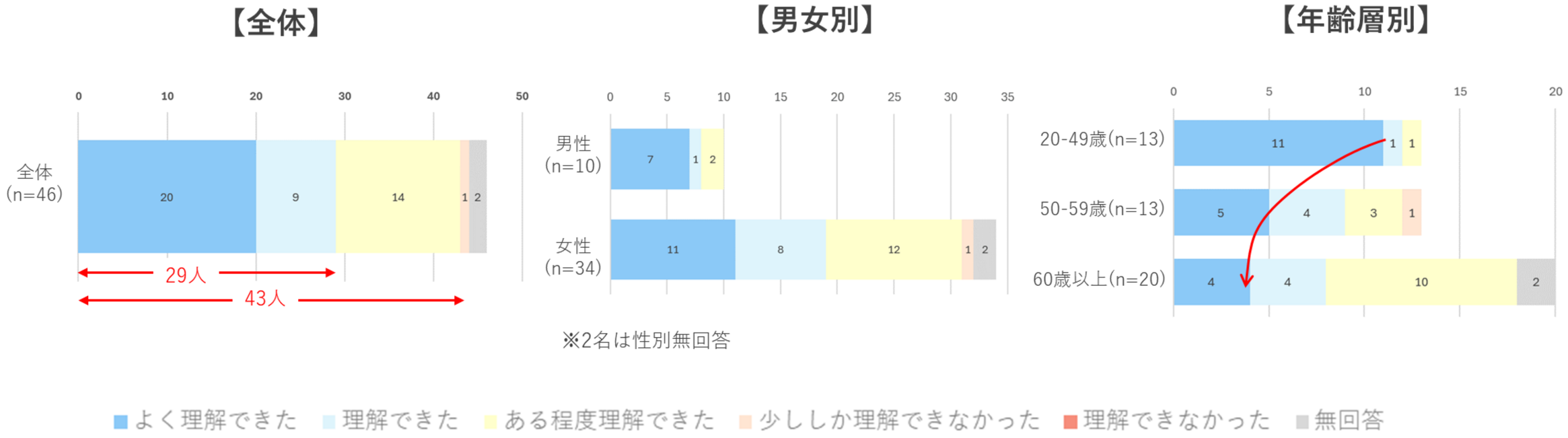
© 2023 PHR Service Business Association All Rights Reserved

イベント後のPHRについての理解度（人数）

PHRサービス事業協会

Q4

- 「よく理解できた」または「理解できた」と答えた方は46人中29人で、全体の過半数を占めました。「ある程度理解した」と答えた方も含めると、46人中43人が理解できたと答えており、理解度は概ね高いといえます。
- 年齢層別にみると、若い世代のほうが理解度が高い傾向がみられました。



※2名は性別無回答

調査実施会社　(株)インテージヘルスケア

© 2023 PHR Service Business Association All Rights Reserved

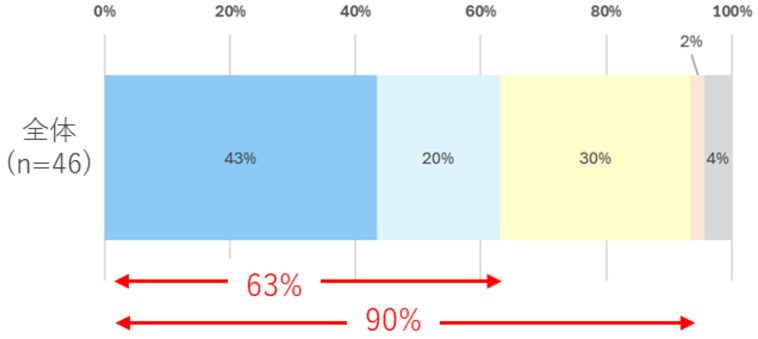
イベント後のPHRについての理解度（%）

PHRサービス事業協会

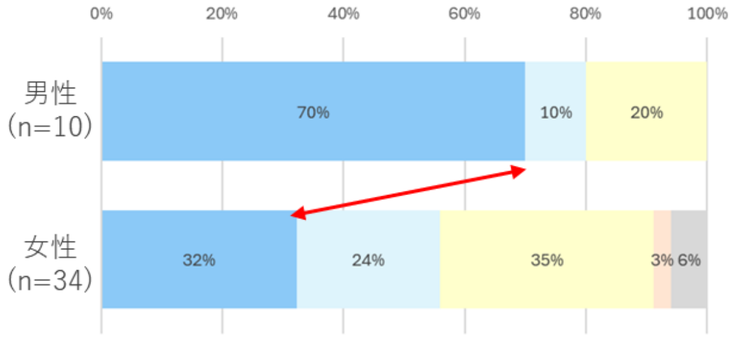
Q4

- 「よく理解できた」または「理解できた」と答えた方は全体の63%でした。「ある程度理解した」と答えた方も含めると、全体の90%が理解できたと答えており、理解度は概ね高いといえます。
- 男女別にみると、男性のほうが理解度が高い傾向がありました。
- 年齢層別では、若い世代のほうが理解度が高い傾向がみられました。

【全体】

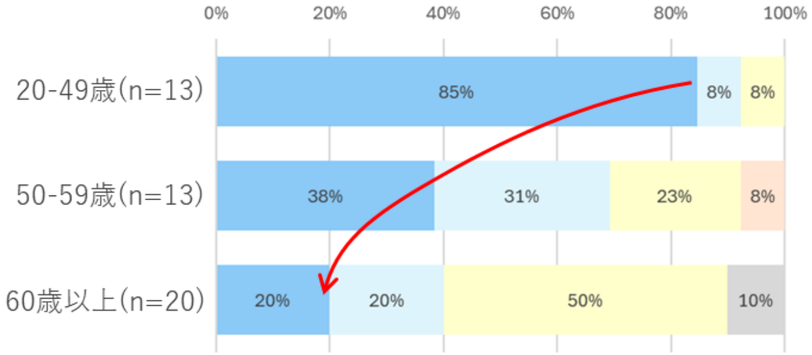


【男女別】



※2名は性別無回答

【年齢層別】



よく理解できた　理解できた　ある程度理解できた　少ししか理解できなかった　理解できなかった　無回答

調査実施会社　(株)インテージヘルスケア

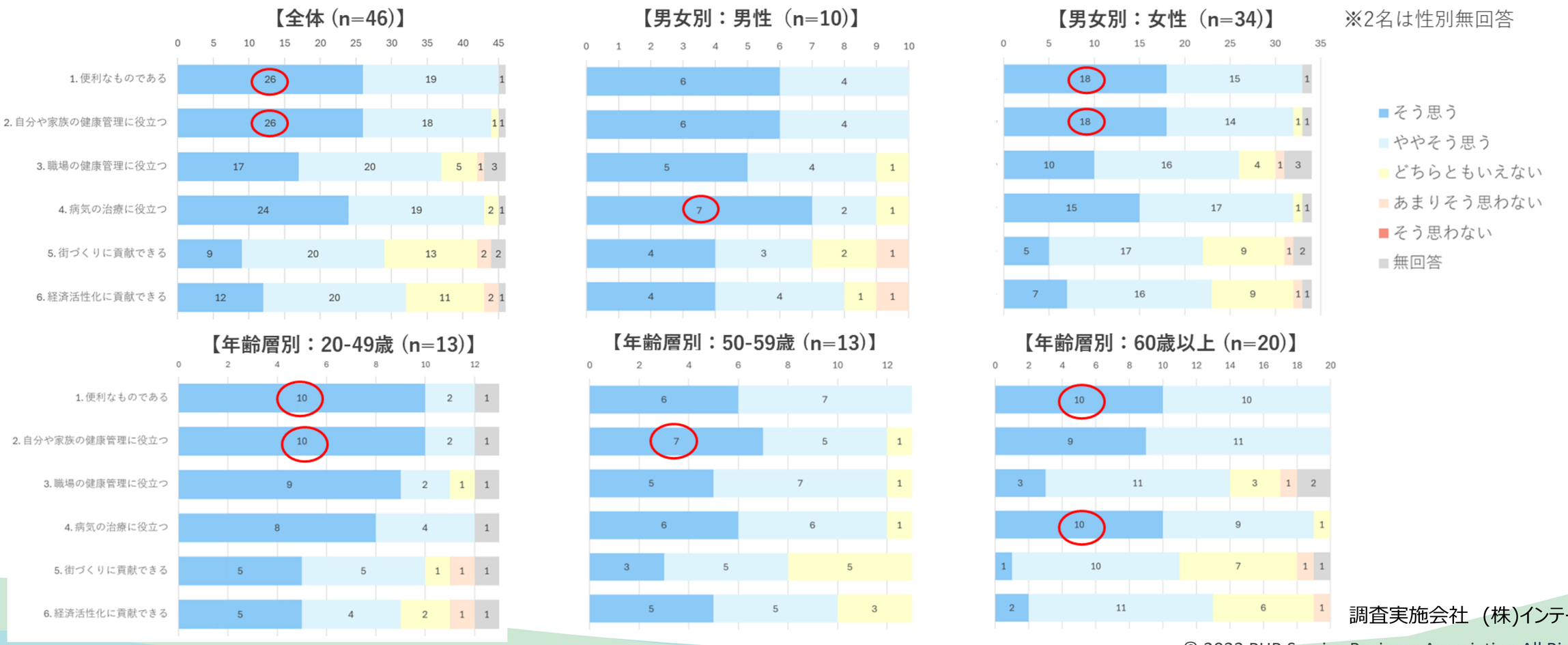
© 2023 PHR Service Business Association All Rights Reserved

PHRの活用についてどのように感じたか？（人数）

PHRサービス事業協会

Q5

- 全体では、「便利なものである」「自分や家族の健康管理に役立つ」と答えた方が最も多くみられました。
- 男女別にみると、男性は「病気の治療に役立つ」、女性は「自分や家族の健康管理に役立つ」と答えた方が目立ちました。
- 年齢層別では、20～49歳の方は「便利なものである」「自分や家族の健康管理に役立つ」、50～59歳の方は「自分や家族の健康管理に役立つ」、60歳以上の方は「便利なものである」「病気の治療に役立つ」と答えた方が多くなっています。



調査実施会社　(株)インテージヘルスケア

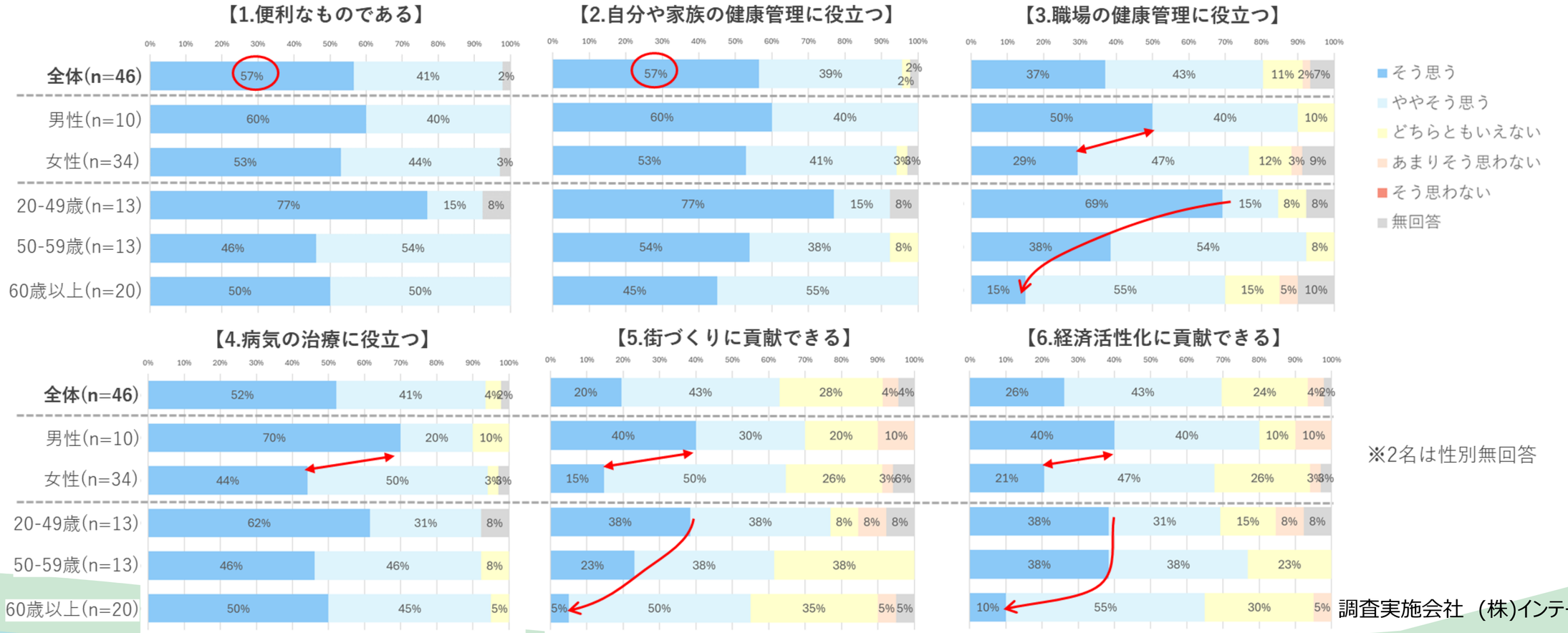
© 2023 PHR Service Business Association All Rights Reserved

PHRの活用についてどのように感じたか？（%）

PHRサービス事業協会

Q5

- 全体では、「便利なものである」「自分や家族の健康管理に役立つ」と答えた方が多くみられています。
- 男女別にみると、女性のほうが男性より「そう思う」と答えた割合が低くなっており、特に「職場の健康に役立つ」「病気の治療に役立つ」「街づくりに貢献できる」「経済活性化に貢献できる」の4項目で差が大きくなっています。
- 年齢層別では、若い世代ほど「そう思う」と答えた割合が高く、特に「職場の健康管理に役立つ」「街づくりに貢献できる」「経済活性化に貢献できる」の3項目では、年齢が低いほど肯定的な傾向がみられます。



※2名は性別無回答

調査実施会社　(株)インテージヘルスケア

© 2023 PHR Service Business Association All Rights Reserved

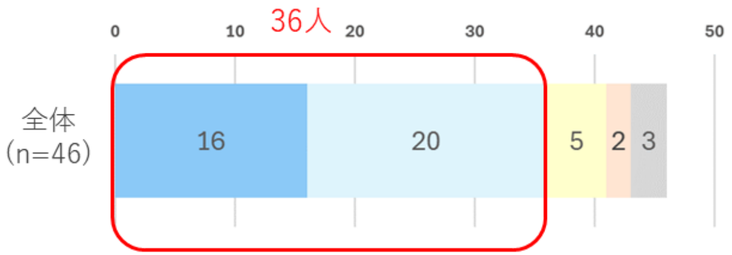
PHRの活用に対する意向（人数）

PHRサービス事業協会

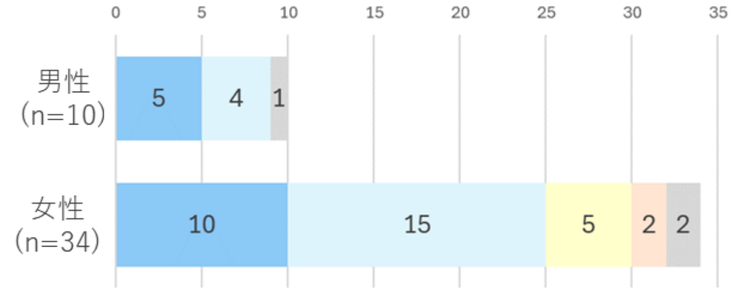
Q6

- 「積極的に活用したい」または「活用したい」と答えた方は46人中36人で、全体の過半数を占めています。この結果から、PHRを活用したいと考える意向は全体的に高いといえます。
- 年齢層別にみると、比較的年齢が低い集団のほうが、PHR活用に前向きな傾向がありました。

【全体】

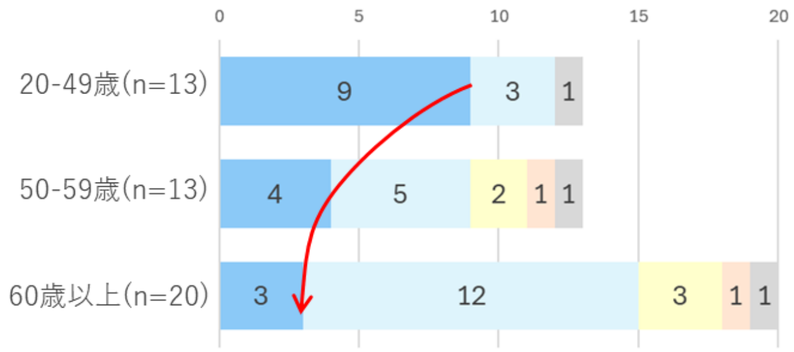


【男女別】



※2名は性別無回答

【年齢層別】



■積極的に活用したい　■活用したい　■まだよくわからない　■あまり活用したいと思わない　■活用したくない　■無回答

調査実施会社　(株)インテージヘルスケア

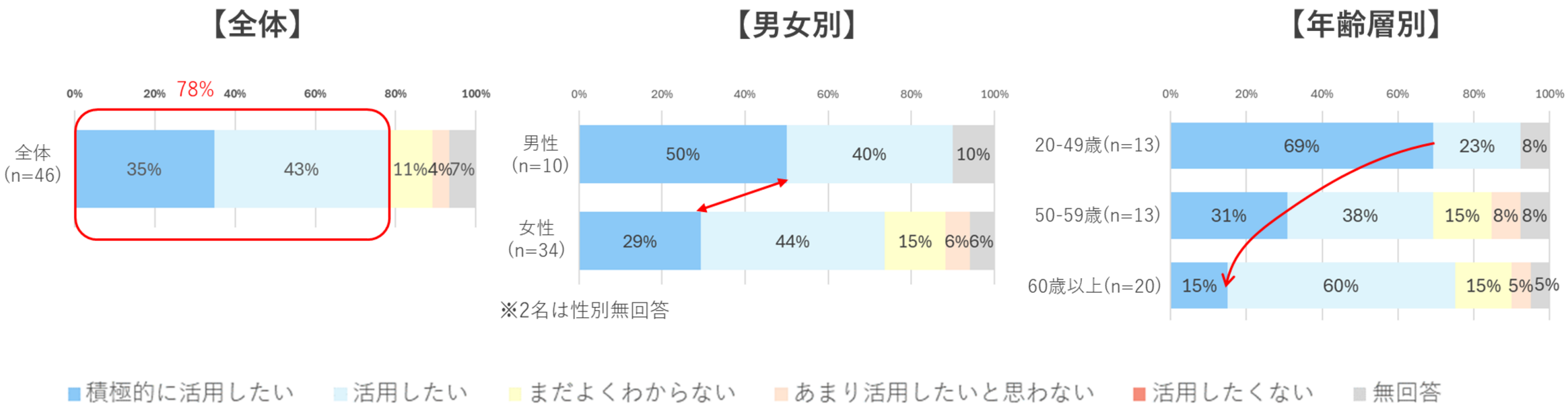
© 2023 PHR Service Business Association All Rights Reserved

PHRの活用に対する意向（%）

PHRサービス事業協会

Q6

- 「積極的に活用したい」または「活用したい」と答えた方は全体の78%で、PHRの活用に前向きな意向が多いといえます。
- 男女別にみると、男性のほうが積極的に活用したいと考える割合がやや高めでした。
- 年齢層別では、年齢が低い集団のほうが、PHR活用の意向が高い傾向がみられました。



調査実施会社 (株)インテージヘルスケア

© 2023 PHR Service Business Association All Rights Reserved

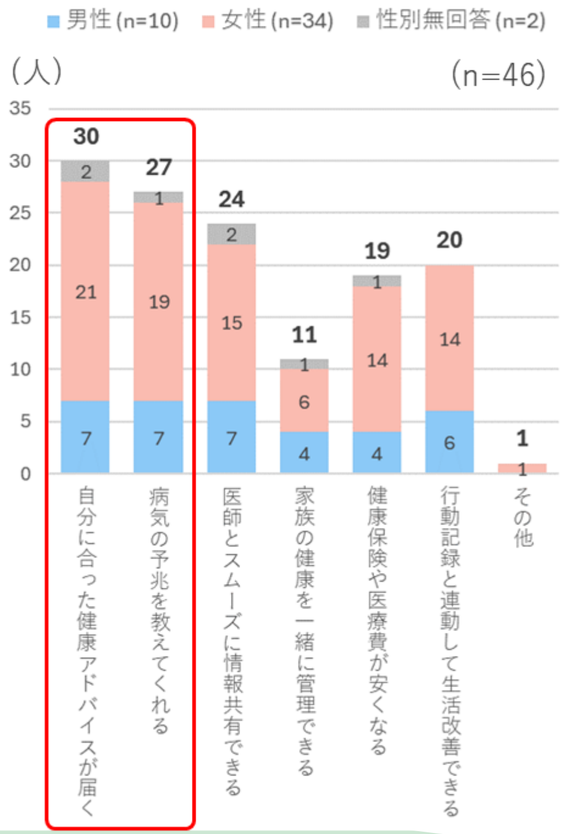
どんなPHRサービスがあったらうれしいか（人数）

PHRサービス事業協会

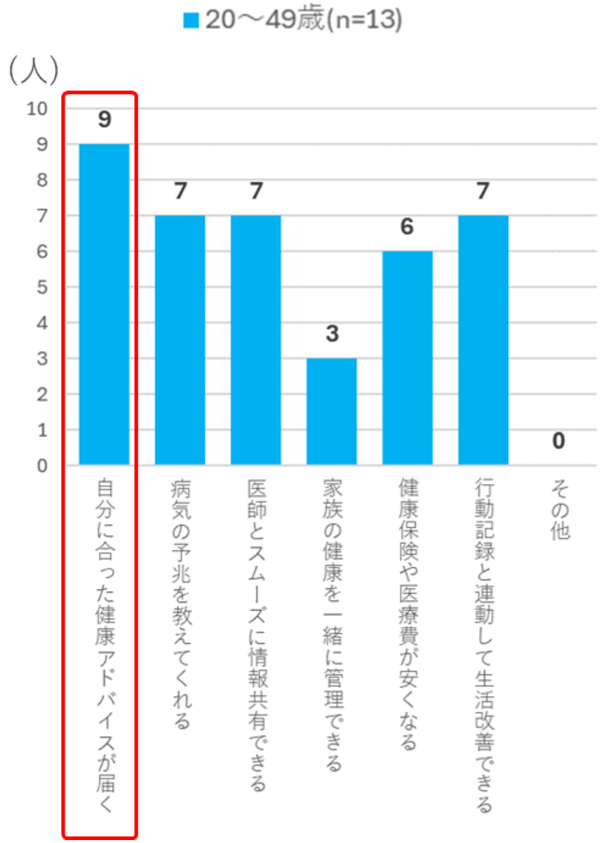
Q7

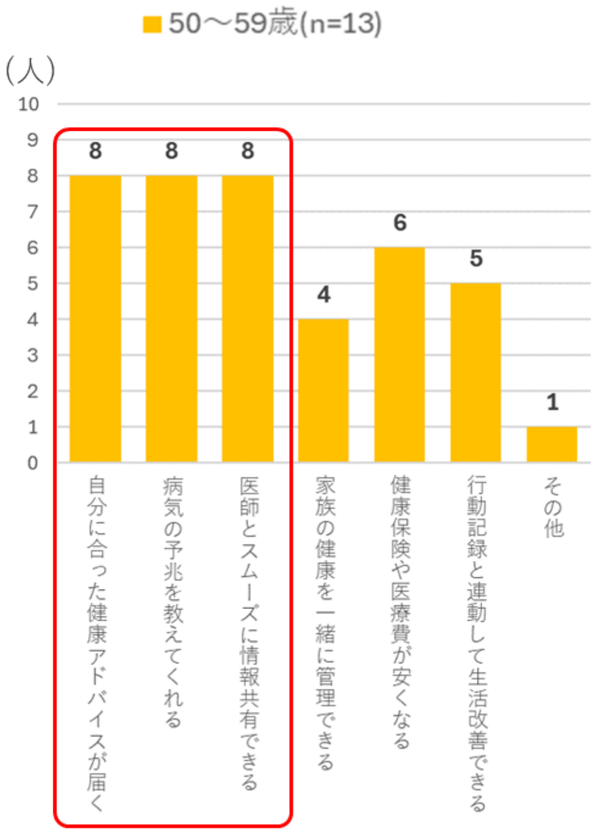
- 「自分に合った健康アドバイスが届く」と答えた方が最も多く、次に「病気の予兆を教えてくれる」というサービスをうれしいと感じた方が多くみられました。
- 年齢層別にみると、20～49歳と60歳以上の方は「自分に合った健康アドバイスが届く」と答えた方が多く、50～59歳の方は「自分に合った健康アドバイスが届く」「病気の予兆を教えてくれる」「医師とスムーズに情報共有できる」の3つのサービスをうれしいと感じた方が多くなっています。

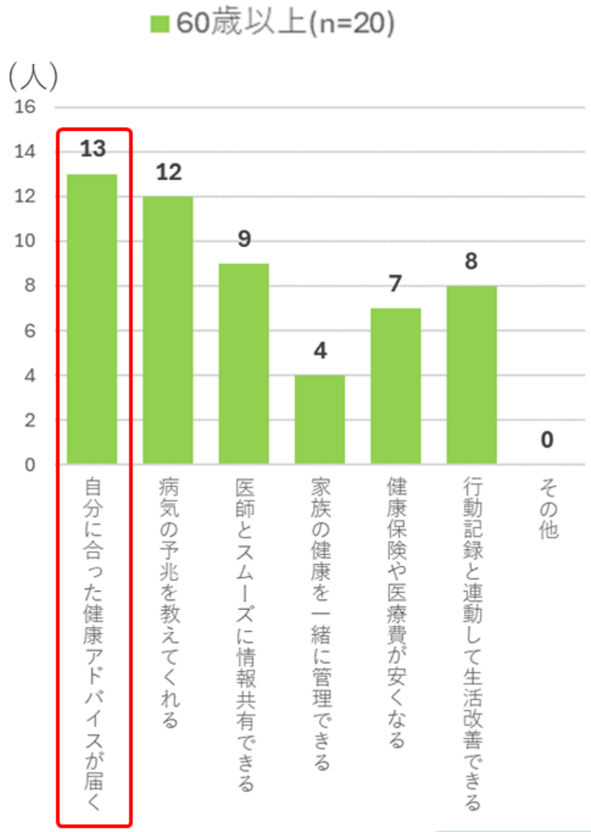
【男女別】



【年齢層別】







調査実施会社　(株)インテージヘルスケア

© 2023 PHR Service Business Association All Rights Reserved

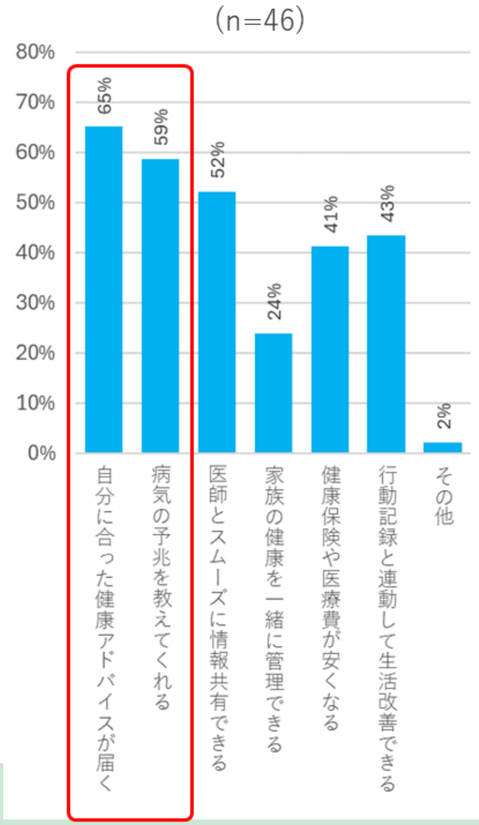
どんなPHRサービスがあったらうれしいか（%）

PHRサービス事業協会

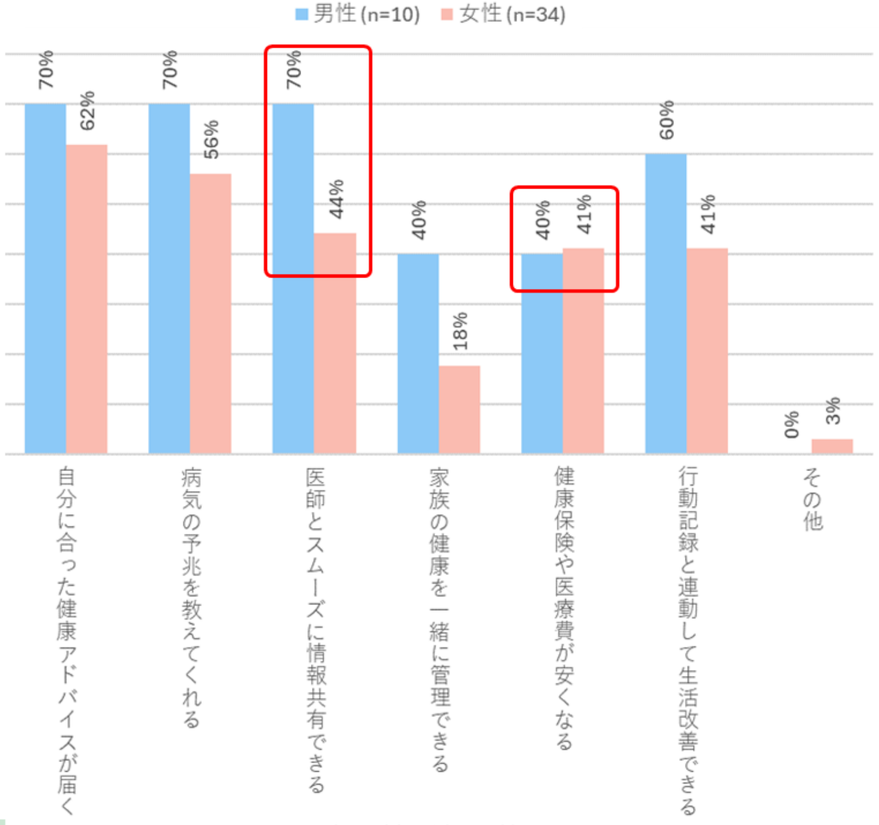
Q7

- 男女とも、「自分に合った健康アドバイスが届く」「病気の予兆を教えてくれる」といったサービスに対して、うれしいと感じる方が多くみられました。
- 性別による違いが大きかった項目は「医師とスムーズに情報共有できる」で、男性の支持が目立ちました。一方、「健康保険や医療費が安くなる」は男女差が小さく、相対的に女性の支持が高い項目です。
- 年齢層別では、「病気の予兆を教えてくれる」に入れた割合が年齢とともに高くなる傾向がみられ、年齢が高いほど病気を身近に感じている様子がうかがえます。

【全体】

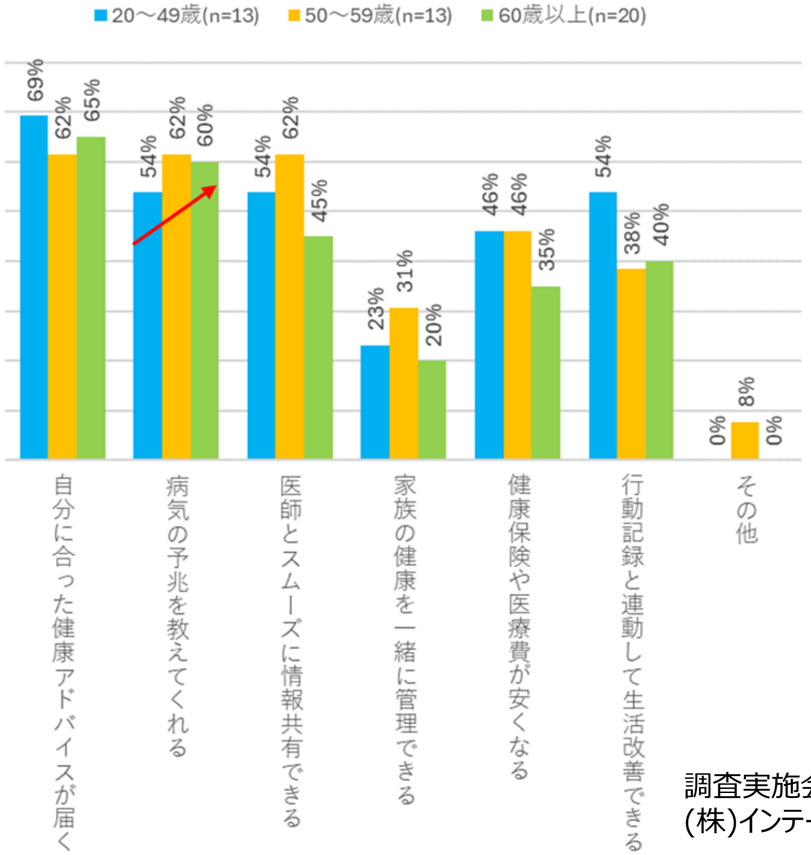


【男女別】



※2名は性別無回答

【年齢層別】



調査実施会社
(株)インテージヘルスケア

© 2023 PHR Service Business Association All Rights Reserved

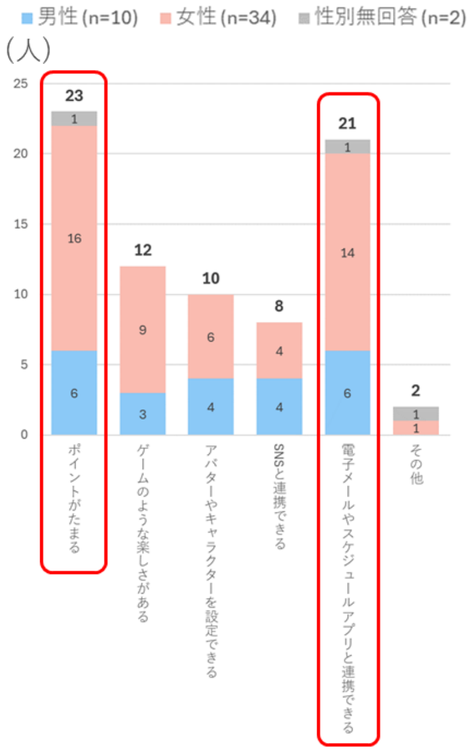
PHRが活用されるための工夫（人数）

PHRサービス事業協会

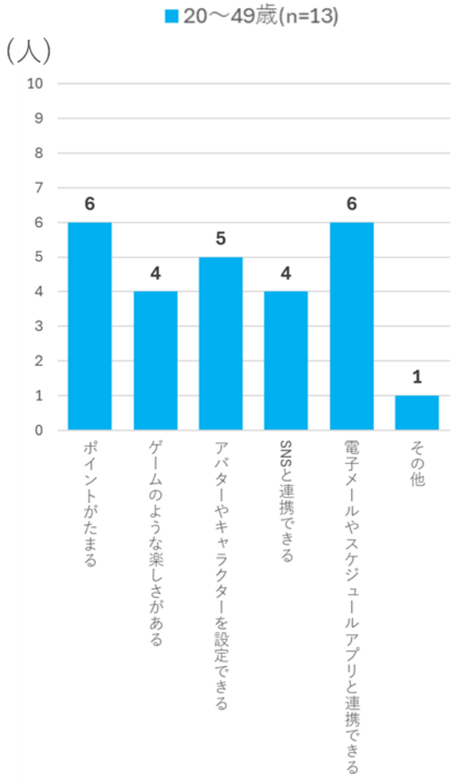
Q8

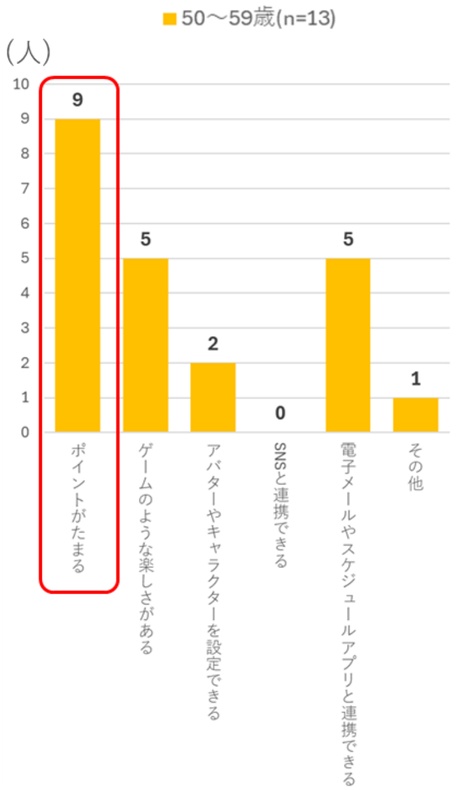
- 全体として、「ポイントがたまる」ことや「電子メールやスケジュールアプリと連携できる」ことによって、PHRの活用が進むと考える方が多いという結果が得られました。
- PHR活用の動機づけとなる工夫については、20～49歳では特定の傾向がみられませんでした。一方で、50～59歳では「ポイントがたまる」ことが有効であり、60歳以上では「電子メールやスケジュールアプリと連携できる」ことや「ポイントがたまる」ことがインセンティブとして効果的であると示されました。

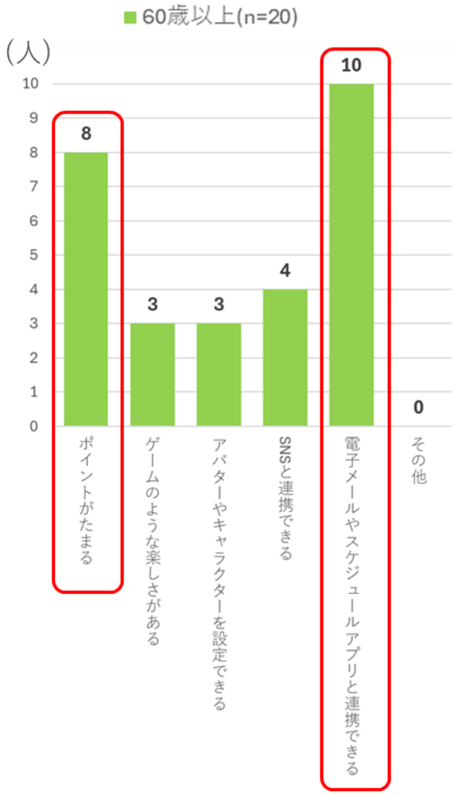
【全体】(n=46)



【年齢層別】







調査実施会社　(株)インテージヘルスケア

© 2023 PHR Service Business Association All Rights Reserved

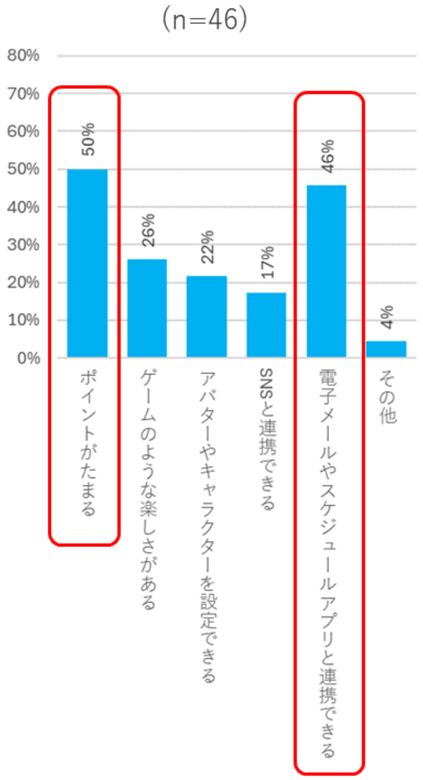
PHRが活用されるための工夫（%）

PHRサービス事業協会

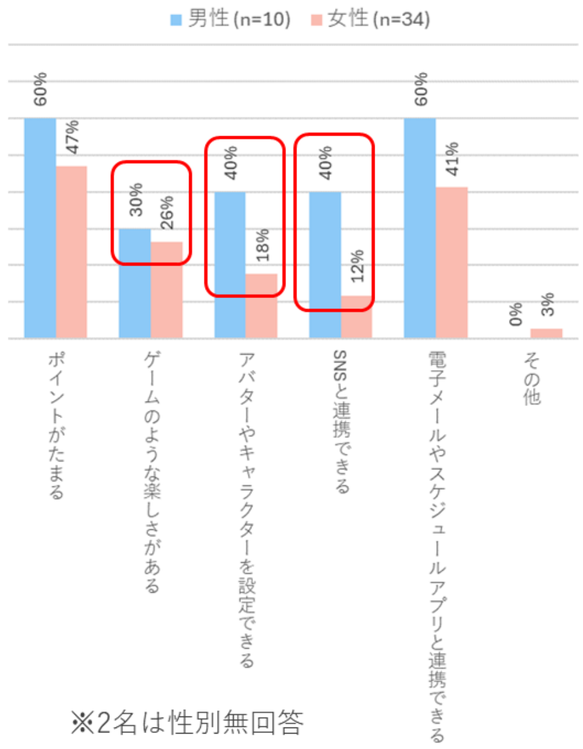
Q8

- 男女ともに、「ポイントがたまる」ことや「電子メールやスケジュールアプリと連携できる」ことが、PHRの活用につながる工夫として支持される傾向がみられました。
- 男女差が小さい項目は「ゲームのような楽しさがある」でした。一方で、「アバターやキャラクターを設定できる」や「SNSと連携できる」については男女差が大きく、女性の評価が低い傾向がみられました。
- 「ポイントがたまる」は、50～59歳で選ばれる割合が高くなっていました。この年代は、60代以降のような「逃げ切った世代」ではなく、かといって女性の社会進出も40代以下ほど進んでいないため、経済的なインセンティブが強く働いている可能性があります。
- 「ゲームのような楽しさがある」は60歳以上での評価が高く、「アバターやキャラクターを設定できる」は50～59歳および60歳以上での評価が低くなっていました。ゲームやアバターなどの要素は、高年齢層では受け入れられにくい傾向が確認されました。

【全体】

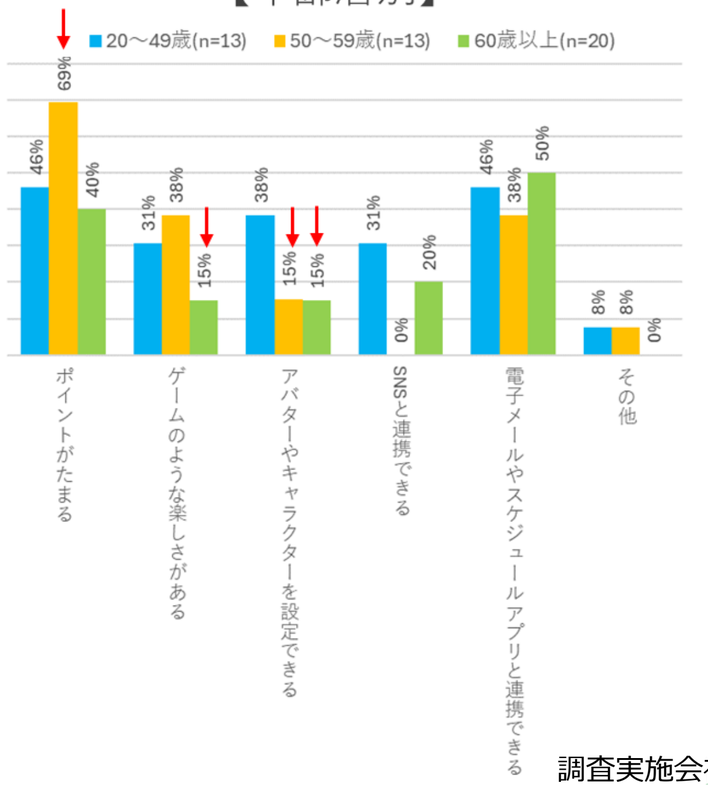


【男女別】



※2名は性別無回答

【年齢層別】



調査実施会社　(株)インテージヘルスケア

© 2023 PHR Service Business Association All Rights Reserved

設問一覧

PHRサービス事業協会

«連番»

大阪・関西万博　ＰＨＲステージ来場者アンケート

※あなたの個人情報が特定されることはありません。安心してご回答ください。

1．年齢はおいくつですか（ひとつ選んでください）

□1. 0~9歳　□2. 10~19歳　□3. 20~29歳　□4. 30~39歳　□5. 40~49歳
□6. 50~59歳　□7. 60~69歳　□8. 70~79歳　□9. 80歳以上

2. 性別を教えてください（ひとつ選んでください）

□1. 男性　□2. 女性　□3. その他　□4. 回答しない

3. 今日の体験で特に印象に残ったコンテンツ（出し物）を教えてください（答えはいくつでも）

□1. ＰＨＲを紹介する映像（最初に流れたビデオ）
□2. 高尾美穂先生の講演
□3. 漫才（アルミカン）
□4. ＰＨＲ体験コーナー・展示
□5. その他（　　）

＊ＰＨＲ（Personal Health Record）…個人の健康やからだの情報を記録した健康・医療・介護などのデータ

4. 今日の体験を通じて、ＰＨＲについて理解できましたか？（ひとつ選んで番号に○をつけてください）

よく理解できた	理解できた	ある程度理解できた	少ししか理解できなかった	理解できなかった
1	2	3	4	5

5. 今日の体験を通じて、ＰＨＲの活用についてどう感じましたか？（それぞれひとつ選んで番号に○をつけてください）

	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
A. 便利なものである	1	2	3	4	5
B. 自分や家族の健康管理に役立つ	1	2	3	4	5
C. 職場の健康管理に役立つ	1	2	3	4	5
D. 病気の治療に役立つ	1	2	3	4	5
E. 街づくり（スマートシティ）に貢献できる	1	2	3	4	5
F. 経済活性化に貢献できる	1	2	3	4	5

（裏面につづく）

6. 今後、ＰＨＲを活用したいと思いますか？（ひとつ選んでください）

□1. 積極的に活用したい
□2. 活用したい
□3. あまり活用したいと思わない
□4. 活用したくない
□5. まだよくわからない

7. ＰＨＲを活用し、将来どんなサービスがあったらうれしいですか？（答えはいくつでも）

□1. 自分に合った健康アドバイスが届く
□2. 病気の予兆を教えてくれる
□3. 医師とスムーズに情報共有できる
□4. 家族の健康を一緒に管理できる
□5. 健康保険や医療費が安くなる
□6. 行動記録（歩数・睡眠など）と連動して生活改善できる
□7. その他（　　）

8. どのような仕掛けがあったらＰＨＲがさらに活用されると思いますか？（答えはいくつでも）

□1. ポイントがたまる
□2. ゲームのような楽しさがある
□3. アバターやキャラクターを設定できる
□4. SNS（Instagram、Facebook、X (Twitter)、LINEなど）と連携できる
□5. 電子メールやスケジュールアプリと連携できる
□6. その他（　　）

9. ＰＨＲが日常生活で役立ちそうだと感じた場面を教えてください。（ご自由にお書きください）

10. 今日の体験全体を通じて感じたこと・ご意見・ご要望などがあれば教えてください。（ご自由にお書きください）

調査実施会社
(株)インテージヘルスケア

© 2023 PHR Service Business Association All Rights Reserved